

九州大学「次世代研究スーパースター養成プログラム」の実施にかかる スーパースタープログラム学術研究員の募集について

平成18年7月1日
九州大学 研究戦略委員会

九州大学では、平成18年度文部科学省科学技術振興調整費（若手研究者の自立的
研究環境整備促進）採択課題「次世代研究スーパースター養成プログラム」の実施にあたり、
スーパースタープログラム学術研究員（以下、SSP学術研究員という。）を募集
いたします。

本プログラムは、①テニユア・トラック制度を前提とし優秀な若手研究者に自立して
研究に専念する環境を与えること、②若手研究者がその独創性を存分に発揮できる研究
プロジェクトを実行することを通じて、本学における新分野の開拓・研究組織改革を推
進すること、を目的としております。

本公募にて採用されたSSP学術研究員は、本学特任助教授の称号を付与され、本養
成プログラムの期間において、下記6つのプロジェクトのいずれかに参加することとな
ります。この間、SSP学術研究員に対しては、①研究スペース・設備・研究費等の研
究環境、②給与面での相応の処遇の支援が行われるため、自立して研究に邁進してい
ただくことになります。また、当該期間終了後、業績審査を受け研究業績が優秀と認めら
れれば、本学准教授（注）に採用されることとなります。なお、本学は12部局におい
て任期制（再任可）を導入しており、准教授に採用後は、当該部局における任期制の取
扱いによるものとします。

応募の受付は下記の研究プロジェクトごとに行います。下記要項を熟読の上、ご応募
いただきますよう、よろしくお願い致します。

（注）学校教育法の改正（平成19年4月1日施行）により、新たに置かれる教員の職。

1 「生体防御におけるポストゲノムサイエンス」の概要

生体防御医学研究所では「生体防御」というユニークな研究課題のもとに生命現象の本質に迫る基礎研究を展開すると共に、生体防御機構の破綻による難治性疾患の発生機序の解明と診断、治療法の確立を目指した応用開発研究を推進している。ポストゲノム科学にもとづく生命科学研究をさらに強力に推進すべく、本研究所では大幅な改組を行い、構造生物学、情報生物学、発生工学を基盤とする研究体制を整備した。構造生物学分野においてはNMR（核磁気共鳴）装置とX線結晶回析装置を設置して我が国における蛋白質構造解析の拠点の一つとすることを目指している。情報生物学分野においては、ゲノムスケールでの蛋白質情報解析の充実を図っている。すでに10年以上の実績をもつ発生工学分野では遺伝子改変マウスの作成と解析をおこない、遺伝子の個体レベルでの機能の解明を行っている。本プロジェクトではこれらポストゲノム3領域である構造生物学、情報生物学、発生工学に加えて、さらにプロテオミクス、ケミカルバイオロジー、バイオイメージングの3分野に人材確保を行い、新たな生命科学研究のための研究開発を実施し、生まれた新技術を利用して、「生体防御」研究を推進する。確立された新技術を九州大学の生命科学研究者と共有することで、九州大学の生命科学研究の推進力としての役割を担う。

本公募は九州大学スーパースター学術研究員制度に基づいて行なわれるもので、独立して研究を遂行できる若手研究者を求める。このために分野名にとられない意欲的な応募も歓迎する。詳細については九州大学スーパースター学術研究員制度を参照のこと

① プロテオミクス 1名：蛋白質の時空間的発現パターンを網羅的に短時間で

把握するシステムを構築すると共に、蛋白質ネットワークを精査することにより集団としての蛋白質機能を解明する。生命現象を統合的に理解することで最終的に基礎研究から先端医療開発研究への橋渡しをおこなう。

② ケミカルバイオロジー1名：生体高分子と代謝産物や有機化合物の相互作用

から生命現象を解明するとともにメタボロームやゲノム創薬等の研究に資する。ナノバイオロジーやRNAテクノロジーに関連する分野も含む。

③ バイオイメージング1名：分子レベル、細胞レベル、個体レベルの遺伝子機能

を可視化して、生命現象を統合的に理解するための研究開発をおこなう。

2. 応募資格

- 1) 採用時において博士の学位を有する者、または応募時点で博士後期課程に在学中で平成18年度内に同学位を取得予定の者。
- 2) 担当する研究分野に関して優秀な研究業績を有すること。
- 3) 自立して独創的な研究を行い得る能力を有すること。
- 4) 下記採用予定期間内に重複して他の研究機関・企業等に所属しないこと。
- 5) 採用時において35歳未満であることが望ましい。

3. 採用予定期間： 平成18年10月1日より平成23年3月31日まで

4. 給与・研究費

給与：年間600万円～750万円

(本人の年齢等をもとに本学の関係規程により決定)

研究費：年間600万円程度

ただし、B.「数学・数理科学における未解決問題挑戦プロジェクト」については、研究費は研究テーマに応じて年間300～600万円とする。

5. 研究施設および設備の提供

研究プロジェクトごとに、研究施設・設備を優先的に提供する。

6. 提出書類：それぞれ正本1通、写1通を提出のこと。

- 1) 略歴書（写真貼付）
- 2) 業績目録
- 3) 学術論文の別刷（主要なもの5編以内、コピー可）
- 4) 現在までの研究内容の要約（A4用紙1～2枚程度）
- 5) 応募プロジェクト名とそれへの参加にあたっての抱負（A4用紙1～2枚程度）
- 6) 応募者の研究内容等につき照会が可能な者2名の氏名と連絡先

7. 応募締切： 平成18年8月31日（木）17：00 必着

8. その他

- 1) 応募書類は原則として返却しない。
- 2) 書面審査を通過した者に対してヒアリングを行う（9月中旬を予定）が、その際の交通費は原則自己負担とする。

9. 書類提出先

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1

九州大学 企画部 研究戦略課内 若手研究者支援室 宛

(封筒に「SSP学術研究員応募書類」と朱書の上、必ず郵便書留にて送付のこと)

以上

記

研究プロジェクト一覧

分類	プロジェクト名称	研究分野	募集人数	内容に関する詳細情報・照会・連絡先
A	時空間階層生命科学	量子化学 生化学 ソフトマター物理学	4	URL: 教授：木村 康之 092-642-2534 kim8scp@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp
B	数学・数理科学における 未解決問題挑戦プロジェクト	数学 応用数学 統計学 計算機科学 オペレーション・リサーチ	2	URL: 教授：若山 正人 092-642-2775 mathDean@math.kyushu-u.ac.jp 教授：福本 康秀 092-642-2762 yasuhide@math.kyushu-u.ac.jp
C	ヒト幹細胞システムの医学的 応用への研究拠点の創出	造血幹細胞 神経系幹細胞 心筋・血管系幹細胞 消化器系幹細胞	4	URL: 教授：赤司 浩一（山口聖子） 092-642-5947 seikoy@cancer.med.kyushu-u.ac.jp
D	ヒューマンセンタード ロボティクスプロジェクト	ロボット工学	1	URL: 教授：山本 元司 092-802-3173 yama@mech.kyushu-u.ac.jp 教授：長谷川 勉 092-642-4063 hasegawa@irvs.is.kyushu-u.ac.jp
E	社会情報基盤構築	情報科学 ソフトウェア工学 情報通信工学 社会工学	2	URL: 教授：安浦 寛人 092-583-7620 yasuura@csce.kyushu-u.ac.jp
F	生体防御における ポストゲノムサイエンス	プロテオミクス ケミカルバイオロジー バイオイメージング	3	URL: 教授：吉開 泰信 092-642-6770 yoshikai@bioreg.kyushu-u.ac.jp